

FASiD 奨学金プログラム 研究報告会 ご案内

『需要主導型』パラダイムを超えたスキルミスマッチの再考 ー ベトナムにおける動的な技能形成を目指して ー

1990年初頭のドイモイ政策以降、ベトナムは増加する外国直接投資の恩恵を受けつつ経済発展と工業化を進めてきたが、近年「中所得国の罠」に陥り成長が鈍化することが懸念されている。その要因の一つとして、しばしばスキルミスマッチー十分な技術・技能を持つ人材の不足ーが取り上げられている。しかし、多くの先行研究は、経済発展と工業化により高度なスキルを持つ人材需要が増加すると仮定し、スキル供給の問題に過度に注目しており、需要側の本質と制約を十分に考察していない。本研究は、企業・教育訓練機関・政府関係者とのインタビューから得た質的データに基づき、ベトナムの機械工業セクターにおける技能形成の現状と課題を需給両面から分析し、ベトナムを高スキル国に導き得る要素を探る。

報告者： 森 純一 FASiD 奨学金プログラム（2期生）

英国カーディフ大学社会科学部博士課程3年

日 時： 2017年1月18日(水) 12:30～13:30（開場12時）

会 場： FASiD ミーティング・ルーム 地図 http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml

対 象： 本プログラムや発表テーマにご関心をお持ちの方はどなたでも出席頂けます。

参加費： 無 料（要申込み・座席定員制）

【略 歴】（もり・じゅんいち）早稲田大学法学部卒。某電機メーカー勤務の後、米国タフツ大学フレッチャー大学院にてM.A（貿易政策・開発経済）取得。2006年政策研究大学院大学開発フォーラム研究員。2006～2010年、国連工業開発機関（UNIDO）ベトナム事務所プログラムオフィサー・工業開発官。2010～2013年、国際協力機構（JICA）「ハノイ工業技能者育成支援プロジェクト」産学連携専門家。2014年～英国カーディフ大学社会科学部博士課程在籍、ベトナムの技能形成に関する研究を行う。

【著書・執筆】「ベトナム：FDI誘導型成長を支える工業人材育成を目指して」（岡田亜弥他編著『産業スキルディベロプメント：グローバル化と途上国の人材育成』（日本評論社、2008年、P.75-P.87）。「ベトナムにおける工業人材育成の現状-日系中小企業と教育訓練機関の連携の可能性」（『町工場からアジアのグローバル企業へ：中小企業の海外進出戦略と支援策』（大野泉編著、中央経済社、2015年、第6章、P.169-P.199）等。

【申込み】 お名前・ふりがな、ご所属、電話（昼間連絡できる先）を email にて(gakui@fasid.or.jp)へお送り下さい。（定員になりしだい、締切らせて頂きます。早目にお申込み下さい。） 昼食持参の方は会場で召し上がれます。

【FASiD 奨学金プログラム】 国際開発機構（FASiD）では、開発援助分野における高度なレベルの人材育成の促進に資することを目的として国内外の国際開発関連分野の大学院での学びに必要な経費を支援しています（日本人材対象）。受給終了後は報告会を開催し、研究活動や成果等について報告・発表の機会としています。皆さまのご来場を歓迎します。

〔お問合せ・申込みは e-mail をご利用下さい〕

一般財団法人 国際開発機構 FASiD 奨学金プログラム事務局（担当：服部）

事務局・セミナー会場住所：東京都港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6 階

email: gakui@fasid.or.jp / TEL: 03-6809-1996 / FAX: 03-6809-1387

http://www.fasid.or.jp/activities/3_index_detail.shtml

Foundation for Advanced Studies on International Development